

名古屋大学エネルギーマネジメント研究・検討会
平成20年度 エネルギーに関する文理融合研究シンポジウム
第4回 低炭素エコキャンパス実現のための実践とビジョン

地球温暖化防止のための京都議定書の第一約束期間（2008－2012年）を迎え、日本はその5年間で二酸化炭素など温室効果ガス排出量を1990年比6%削減することが求められております。すでに企業や地方公共団体等では地球温暖化防止に向けた独自の取組を進めている中、工場・運輸部門を除く民生部門事業所として名古屋市最大の二酸化炭素を排出する「名古屋大学東山キャンパス」は言うに及ばず、それに次ぐ「鶴舞キャンパス（医学部・病院）」も決してこの例外たり得ません。

国際水準の研究成果をあげるための研究活動が活発化すればそれだけ二酸化炭素の排出が増加することが避けられません。名古屋大学はこの事実を真摯に受け止め、他大学に先行し、大学内の部局間の枠を超え文系・理系の教員、事務・技術職員が協働しエネルギーマネジメント研究・検討会を立ち上げ、学内におけるエネルギーの徹底した管理と省エネの実施に向け積極的な努力を重ねて参りました。

今回のシンポジウムでは、エネルギーマネジメント研究・検討会で進めてきた研究・実践の成果をご覧いただき、ご来場の皆様と議論を深める中で、大学の存立をかけた名大発の低炭素社会実現に向けた取り組みを広く社会と共有し、そのあり方を共に考え、実践する良い契機にしたいと考えております。

開催日：平成21年3月13日（金） 13:00－17:20
場所：名古屋大学経済学部第一講義室（空気攪拌ファンによる空調効率化プロジェクト実践場所）
【交通案内】 地下鉄名城線名古屋大学駅1番出口 出て右正面建物からお入り下さい。

【プログラム】

13:00

報告会開催にあたって 杉浦康夫（施設・安全担当理事）
低炭素エコキャンパス実現に向けた名古屋大学の取り組みと課題 山口博行（施設管理部長）

第一部 パネルディスカッション

低炭素エコキャンパスの実現－『名大エネルギービジョン』の策定に向けて

パネリスト：

濱口道成（医学研究科長）、平井明成（文部科学省文教施設企画部参事官）
唐沢かおり（東京大学文学部・大学院人文社会系准教授、名古屋大学エコトピア科学研究所客員准教授）、
北川邦行（エコトピア科学研究所教授）、恒川和久（工学部施設整備推進室講師）

コーディネーター：荒山裕行（経済学研究科教授）

《 休憩 》

第二部 低炭素エコキャンパス実現に向けた名古屋大学の取り組み

20年度EM研の取り組み報告 加藤好孝（施設管理部施設管理課）
人感連動制御・断熱OAコア省エネ検証 田中英紀（中部大学工学部建築学科准教授）
鶴舞キャンパス省エネ事例報告 太田剛、藤丸隆志（医学部・医学系研究科経理課施設管理グループ）
東山地区工学部実験系省エネ事例報告 片山正昭（エコトピア科学研究所教授）
熊沢正幸（全学技術センター）

第三部 特別講演：『低炭素エコ社会への挑戦－水素技術と日本経済』

トヨタ自動車株式会社FC開発部 広瀬 雄彦氏

閉会の辞

《 情報交換会 》

17:30－ 挨拶 佐々木 敏幸（全学技術センター 統括技術長）

主催：名古屋大学エネルギーマネジメント研究・検討会

お申込み先：名古屋大学施設管理部施設企画課総務掛 佐藤 sis-sou@post.jimu.nagoya-u.ac.jp